平成２５年度　SSHニュース　　岡山理科大学附属高校　No.23
兵庫県立人と自然の博物館研修　　２０１３年１１月２４日（日）

人と自然のかかわりや自然から学ぶ技術について研修しました。

参加者：生徒15名、引率教員３名

☆プログラム
10:50～講演
13:00～15:00　展示学習
15:00～15:40　まとめ・アンケート
☆評価：
憶えたキーワードは里山9名、ネイチャーテクノロジー4名など、とても良かったという評価が15人中13人。

１．里山は、放置されると落葉樹林から常緑樹林に遷移してきます。コナラなどの樹木は、燃料資源として炭などに加工されて利用されていました。里山の恵みを再び利用することが、これから重要になってきます。

里山の管理と利用について学びました。
これからのエネルギー問題に関係します。

２．自然の中には利用できる技術のもとやヒントがいっぱいあります。モルフォテックス、面ファスナー、水をはじく布などが開発されています。トウカエデの果実は、プロペラの開発に役立ちます。

丹波の恐竜が発掘されていました。岡山県にも同じ地層が有るので、興味を持ちました。

感想
・4階建ての充実した博物館だった。化石発掘の作業着も着ることができて、リアルだった。
・たくさんの標本やはく製があって、見たりさわったりできて楽しかった、こんな良いところに無料で来れて良かった。